

Project Idea Note for JCM Project

(Title of the project)

(Should be self-explanatory and clearly indicate the activity leading to GHG emissions reductions / removals)

Date of Submission: dd/mm/yyyy

Partner country: XX

PIN reference number*: _____
(*For the secretariat use only)

The information described in this document may change as the project develops.

1. Description of the project, including how the project reduces/removes GHG emissions

例①：A社はXXX国YYY市において、現地企業B社と協力し、ゴミ埋立地に集積された生ごみを含む一般廃棄物を活用した廃棄物発電事業を実施します。本事業では、埋立地から回収した可燃性廃棄物を焼却し、発生する熱エネルギーを電力に変換して電力会社に売電することで、化石燃料由来の既存発電を代替するとともに、埋立処分場からのメタン排出を回避し、温室効果ガス排出を削減します。A社は資金提供と技術供与を担い、B社は現地での設備運用・保守管理・モニタリングを担当します。全ての資金はA社からB社を通じて処理施設の建設・整備や運営に充当される一方、削減に応じたクレジットの70%はA社に帰属します。必要な環境影響評価や廃棄物処理許可は取得済みであり、XXX国エネルギー省および環境省との調整も進行中です。埋立処分場からのメタン排出量、及びエネルギー起源二酸化炭素排出量については、本パートナー国においてNDC目標に含まれており、インベントリで報告されています。JCMの手続き（方法論作成、PDD作成、モニタリング報告書作成、プロジェクト登録申請、クレジット発行申請）については、A社の責任で行います。モニタリングのためのデータ収集についてはB社が行います。

例②：A社は現地企業B社と連携し、XXX国のYYY州中央部においてAWD (Alternate Wetting and Drying) 技術を活用した稲作分野の排出削減プロジェクトを実施します。本事業では、間断灌漑により水田のメタン排出を削減し、同時に水資源の効率利用を図ります。A社は資金提供と技術指導を担い、B社は現地農家との調整や運営を担当します。資金はA社からB社を通じて供給され、削減量に応じたクレジットはA社に帰属しますが、その約7割は事業期間を通じて農家等に還元される仕組みです。YYY州および灌漑管理局と、事業許可や灌漑水利用許可は概ね取得済みであり、XXX国政府の農業省・環境省との協議も進行中です。水田からのメタン排出量については、本パートナー国においてNDC目標に含まれており、インベントリで報告されています。JCMの手続き（方法論作成、PDD作成、モニタリング報告書作成、プロジェクト登録申請、クレジット発行申請）については、A社の責任で行います。モニタリングのためのデータ収集についてはB社が行います。

**Please also explain the implementation structure, such as financial structure, money flow of the project, as far as possible.*

2. Reasons and rationale for implementing the project under the JCM

**Please explain why the project participants propose to implement the project under the JCM, instead of a purely commercial project. Please also describe how the proposed project provides any benefits to the partner country, given that the partner country should apply corresponding adjustments for JCM credits acquired by Japan. Please also explain how the project aligns with an eligible/positive list or relevant guidance in the partner country, if applicable.*

例①：【クレジット収入・補助金以外に収入がある事業の場合】

本事業の経済性評価では、IRRは2.3%、投資回収年数は17年となり、民間事業としては下方リスクもある中で事業性が乏しく、JCMクレジットがなければ事業を推進することが出来ない。JCMクレジットの売却収入を当社想定に基づき見込んだところ、IRRは5%、投資回収年数は8年となった。依然として経済性の良い事業とは言えないものの、クレジット売却収入があれば最低限の採算性を確保できる見込み。

コメントの追加 [m1]: プロジェクトの概要、規模がわかるようなタイトルとしてください。場所については、地域の表記までとして、国名は含めないでください。

コメントの追加 [m2]: 2桁の国名コード表で入力下さい。
https://www.moj.go.jp/MINJI/common_igonsyo/pdf/001321964.pdf

コメントの追加 [m3]: 適用する技術や対策の具体的な内容、どのようにしてパートナー国のGHG排出削減や除去となるのかを説明してください。この場合、その削減や除去が、パートナー国がパリ協定に基づいて報告するGHG排出量（インベントリ）に反映されることが必要です。加えて、プロジェクトに関係する主体とそれぞれの役割を示す体制図を添付してください。関係する主体としては、例えば、投資企業、金融機関、EPCコントラクター、オペレーター、製品オフテイク、JCMコンサルタント等が挙げられます。またJCMの手続きを誰が進めるのかについても記入ください。

コメントの追加 [m4]: パリ協定第6条に沿って実施するJCMでは、JCMプロジェクトによって発行されるクレジットのうち、日本側に配分されるJCMクレジット分については相当調整（パートナー国が排出量を報告する時に、同量を上乗せすること）の対象となることから、パートナー国がJCMプロジェクトを実施する際に、相当調整を行ってもなお自国のメリットになることについて理解を得ることが求められます。

当該事業がJCMを利用する理由として、事業性を確保するためにクレジットによるインセンティブ（例：クレジット収入以外に事業収益が見込めない事業であるか、事業収益が見込めたとしてもクレジット収入がなければ投資回収年数が長期化する、あるいはIRRが低く、事業の実施が困難であること等）が必要であることを説明してください。

さらにパートナー国のNDCへの貢献という観点から、技術難易度や導入量・スピードなどで特に優れている点やパートナー国内での波及・横展開のポテンシャル有無及び程度（地元企業の参画、キャパシティや技術の習得による地域産業への裨益を含む）があれば記入ください。

コメントの追加 [m5]: パートナー国において、パリ協定第6条2の協力に関して適格な活動リストやポジティブリストなどを公表している場合、提案プロジェクトがそのリストに含まれていることを説明してください。

例②：【クレジット収入・補助金以外に収入がない事業の場合】

本事業は公共性の高い事業だが、事業収益がないため、JCM クレジットがなければ事業を推進出来ない。JCM クレジットの売却収入を当社想定に基づき見込んだところ、IRR は 5%、投資回収年数は 8 年となり、クレジット売却収入があれば最低限の採算性を確保できる見込み。

例③：【相手国では普及していない脱炭素技術を採用する事業】

なお、本事業で採用する JJJ 技術は、世界的にも最先端の技術であるが本パートナー国内、さらには近隣諸国においても採用されていない。最先端の製品であるが故にコストが高く、通常の商業ベースでは採用されない。

3. Location of the project

例：

XXX Village, YYY State, 50100, Republic of XXX

事業エリアは YYY 州の XXX 村を中心とする 20,000 ヘクタールの地域であり、YYY 州の農業局、XXX 国の灌漑省とも調整済み。具体的な場所については別添地図を参照。

コメントの追加 [m6]: 住所が基本となりますが、できれば GPS 座標も入れてください。また広範囲な土地利用を伴うプロジェクトや対象エリアを順次拡大するプロジェクトの場合、具体的な場所を特定できる参照情報を添付してください (PIN 提出時点で特定できていない場合は、特定できていないことを明記してください。そのうえで地域や州など、可能な限り実施場所に関する情報を記述してください)。

4. Expected Schedule of the project

Expected starting date of operation	dd/mm/20yy
Expected schedule up to the starting date of operation.	例： 05/2026 Proof of Concept study 08/2026 Submission of the PIN 10/2026 No objection for the PIN 01/2027 Methodology development 04/2027 PDD development 06/2027 Project registration 08/2027 Start of Commercial Operation (COD)

コメントの追加 [m7]: 現時点からの建設見通し及び JCM 手続きの見通しを、両者を分けずに時系列で記入ください。

5. Type and duration of crediting period

- ☐ Fixed period of 10 years
☐ Renewable period of five (5) years, which may be renewed twice at the maximum
☐ Other (please specify:)

コメントの追加 [m8]: 森林系のプロジェクトや CCS 等、通常のクレジット期間よりも長い場合にこちらに記入ください。

6. Expected scale of investment and financial sources

Total investment cost	In national currency: XXX5,350,000 (converted by using the exchange rate of JPY/XXX for reference) In Japanese Yen: JPY802,500,000 ① CAPEX の全てを日本の A 社が負担し、A 社はそれをクレジット販売収入で回収する場合。(OPEX に関してはパートナー国の共同事業者 B 社が事業収入から支払う。) Total investment: CAPEX: -Equipment Purchase 500,000 -Infrastructure 300,000 -Land Acquisition & Preparation 200,000 -Design & Technical Services 150,000 Sub total 1,150,000
-----------------------	---

コメントの追加 [m9]: パートナー国政府への参考表記として、パートナー国の現地通貨 (それが難しい場合はハードカレンシー) での金額を、換算に用いた換算レートとともに記載してください。

コメントの追加 [m10]: 日本国政府による資金支援プロジェクトの場合は、支援対象経費 (補助対象経費) を記入してください。

	<p>② CAPEX の全てを日本の A 社が負担し、A 社はそれをクレジット販売収入で回収し、OPEX に関しても A 社がクレジット販売収入から支払う場合。</p> <p>Total investment:</p> <p>CAPEX:</p> <table> <tr><td>-Equipment Purchase</td><td>500,000</td></tr> <tr><td>-Infrastructure</td><td>300,000</td></tr> <tr><td>-Land Acquisition & Preparation</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>-Design & Technical Services</td><td>150,000</td></tr> <tr><td>Sub total</td><td>1,150,000</td></tr> </table> <p>OPEX:</p> <table> <tr><td>-Labor</td><td>200,000/year</td></tr> <tr><td>-Maintenance</td><td>50,000/year</td></tr> <tr><td>-Inputs & Utilities</td><td>100,000/year</td></tr> <tr><td>-Monitoring & Reporting</td><td>40,000/year</td></tr> <tr><td>-Miscellaneous</td><td>30,000/year</td></tr> <tr><td>Sub total</td><td>420,000/year</td></tr> </table> <p>Total Investment in the crediting period(10 years) 5,350,000/10 years</p>	-Equipment Purchase	500,000	-Infrastructure	300,000	-Land Acquisition & Preparation	200,000	-Design & Technical Services	150,000	Sub total	1,150,000	-Labor	200,000/year	-Maintenance	50,000/year	-Inputs & Utilities	100,000/year	-Monitoring & Reporting	40,000/year	-Miscellaneous	30,000/year	Sub total	420,000/year
-Equipment Purchase	500,000																						
-Infrastructure	300,000																						
-Land Acquisition & Preparation	200,000																						
-Design & Technical Services	150,000																						
Sub total	1,150,000																						
-Labor	200,000/year																						
-Maintenance	50,000/year																						
-Inputs & Utilities	100,000/year																						
-Monitoring & Reporting	40,000/year																						
-Miscellaneous	30,000/year																						
Sub total	420,000/year																						
Contribution by Japanese private finance	<p>In national currency:</p> <p>In Japanese Yen:</p> <p>* []</p>																						
Contribution by the Government of Japan for the JCM	<p>In national currency:</p> <p>In Japanese Yen:</p> <p>**</p>																						
Contribution from the existing schemes and programmes of Partner Countries	<p>In national currency:</p> <p>In Japanese Yen:</p> <p>**</p>																						

* Please explain how the project will be financed and what financial contribution or economic incentive will make the project viable, in case there is no financial support from the Government of Japan for the JCM:

** Please explain what kind of financial support is expected, in case there is financial support from the Government of Japan for the JCM or from the existing schemes and programmes of the Government of partner country.

コメントの追加 [m11]: CAPEX だけでなく OPEX を含めて日本側の貢献として主張することも可能です。この場合は、一段上の総投資額のところに OPEX を含めた金額を説明してください。

コメントの追加 [m12]: 日本国政府による資金支援プロジェクトについては、その事業名（採択年度）、金額を記入してください。

コメントの追加 [m13]: パートナー国の制度等の支援（例 FIT や REC 制度、補助金等）が見込める場合、その内容や想定金額を記入して下さい。

7. Applicable JCM methodology(ies)

- ☐ Existing methodology(ies) (Please specify) _____
- ☒ New methodology(ies) needed (Briefly explain the status below)

コメントの追加 [m14]: 適用できる JCM 方法論がある場合（他のパートナー国における方法論含む）、その方法論番号を記入してください。

コメントの追加 [m15]: 例えば、CDM やボランティア・クレジットの既存方法論を参照して作成することを想定している場合には、その方法論番号および方法論名称を記載してください。但し、JCM では、BaU よりも低く、パートナー国の NDC 達成に貢献できるようリファレンス排出量を設定する必要があるため、基本的にはそのまま使用できないことに留意ください。

適用する方法論は、CDM の方法論（AM00x）を参照して開発中であり、2027 年 1 月に申請予定。

8. Expected Mitigation Outcome (GHG emission reductions/removals)

Mitigation Outcome	Amount	Explanatory note Please explain how those numbers are calculated and the reason for allocation.
A. Expected GHG emission reductions/removals against reference emissions*	19,600	

(JCM credits)	tCO2eq/ year (average)	例： <table><thead><tr><th></th><th>ER</th><th>RE</th><th>PE</th></tr></thead><tbody><tr><td>2026</td><td>1,000</td><td>3,000</td><td>2,000</td></tr><tr><td>2027</td><td>5,000</td><td>8,000</td><td>3,000</td></tr><tr><td>2028</td><td>10,000</td><td>14,000</td><td>4,000</td></tr><tr><td>2029</td><td>15,000</td><td>20,000</td><td>5,000</td></tr><tr><td>2030</td><td>30,000</td><td>40,000</td><td>10,000</td></tr><tr><td>2031</td><td>30,000</td><td>40,000</td><td>10,000</td></tr><tr><td>2032</td><td>30,000</td><td>40,000</td><td>10,000</td></tr><tr><td>2033</td><td>30,000</td><td>40,000</td><td>10,000</td></tr><tr><td>2034</td><td>30,000</td><td>40,000</td><td>10,000</td></tr><tr><td>2035</td><td>15,000</td><td>20,000</td><td>5,000</td></tr><tr><td colspan="4">TOTAL：196,000</td></tr><tr><td colspan="4">Average：19,600</td></tr></tbody></table> <p>Where: ER = RE - PE ER = Expected GHG emission reductions/ removals RE = Reference Emissions PE = Project Emissions</p> <p>CDM 方法論(AM00x)を参照し、Baseline (BaU) 排出量を設定。本パートナー国の NDC 目標が BaU 比 30%削減であるため、BaU 排出量 7 割をリファレンス排出量と設定し、この排出量とプロジェクト排出量の差を想定排出削減量として計算した。</p>		ER	RE	PE	2026	1,000	3,000	2,000	2027	5,000	8,000	3,000	2028	10,000	14,000	4,000	2029	15,000	20,000	5,000	2030	30,000	40,000	10,000	2031	30,000	40,000	10,000	2032	30,000	40,000	10,000	2033	30,000	40,000	10,000	2034	30,000	40,000	10,000	2035	15,000	20,000	5,000	TOTAL：196,000				Average：19,600			
	ER	RE	PE																																																			
2026	1,000	3,000	2,000																																																			
2027	5,000	8,000	3,000																																																			
2028	10,000	14,000	4,000																																																			
2029	15,000	20,000	5,000																																																			
2030	30,000	40,000	10,000																																																			
2031	30,000	40,000	10,000																																																			
2032	30,000	40,000	10,000																																																			
2033	30,000	40,000	10,000																																																			
2034	30,000	40,000	10,000																																																			
2035	15,000	20,000	5,000																																																			
TOTAL：196,000																																																						
Average：19,600																																																						
(optional) Credits acquired by Japanese companies and/or government	60.7 %	例（定型文書なので英語）：																																																				
(optional) Credits acquired by partner country's companies and/or government <i>These reductions should be reflected in the partner country's GHG inventory</i>	40.3 %	<p>Along with the JCM rules and guidelines, the percentage of JCM credit allocation among the project participants of Japan, the project participants of (Partner Country), the Government of Japan and the Government of (Partner Country) respectively.</p> <p>The preliminary allocation above is proposed based on the following standard formula: A percentage of JCM credits that Japan will acquire from a JCM project (%)</p> <p>= Amount of financial support from Japan x 100 / Total project cost = (1,150,000+420,000x5) / 5,350,000 = 60.7(%)</p> <p>(CAPEX 全額と OPEX の半額を負担する前提)</p> <p>Where “Japan” is the Government of Japan and Japanese participants. “Amount of financial support from Japan” is the actual amount of financial support utilized by the project participants to implement the JCM project. “Total project cost” are capital expenditures (and operating expenses) directly contribute to GHG emission reductions or removals.</p>																																																				
B. (optional) Expected GHG emission	28,000	例：CDM 方法論(AM00x)を参照し、Baseline																																																				

コメントの追加 [m16]:（年間の削減量の変動があまりない場合を除き）排出削減量計算に必要な、リファレンス排出量とプロジェクト排出量の両方について、プロジェクト期間中の各年分を記入ください。その上で年平均値を記入ください。

リファレンス排出量については、承認方法論がある場合はその方法論を使って計算してください。承認方法論がない場合は、BaU（成り行き）量を下回り、かつパートナー国が、仮にクレジット全量を日本側に配分し相当調整を適用しても、なおパートナー国の NDC 達成に貢献することを説明できるよう設定してください。

コメントの追加 [m17]: 可能であれば現時点で想定されるクレジットの配分率を記入ください。

日本国政府による資金支援プロジェクトについては、初期投資額に対する資金支援額の割合を、日本への配分率とすることが基本となります。

民間 JCM については、CAPEX や OPEX を合計したプロジェクトの総額に対する、日本側の負担額の割合を日本への配分率とすることが考えられます（特に初期投資額が少なく、プロジェクトにクレジット以外の収益がない場合）。

reductions/removals against Business-as-usual (BaU) emissions** <i>These reductions, excluding the amount of credits acquired by Japan, should be reflected in the partner country's GHG inventory</i>	tCO ₂ eq/ year (average)	(BaU) 排出量を設定。BaU 排出量とプロジェクト排出量の差の年間平均値。
---	---	---

* The reference emissions are established below BaU, in a manner that a proposed project contributes to the achievement of the NDC of a partner country.

** BaU emissions represent plausible emissions in providing the same outputs or service level of the proposed JCM project in the partner country.

コメントの追加 [m18]: 可能であれば BaU 排出量からの削減量を記載下さい。例えば、CDM の方法論は BaU 排出量を計算する手法です。また現在排出している活動であれば、現在の排出量を BaU 排出量と見なすことも考えられます。

9. Contacts

Representative Japanese participant for the project and its roles in the project

Name of the entity	A 株式会社
Business description	再生エネルギー開発業
Roles of the entity in the project	例： 1. ファイナンス 2. 技術供与 3. JCM 化の調整業務 4. JCM 手続きの実施（PIN、PDD、クレジット申請等の提出）
Name and position of the contact person	Mr. xxx, Director, Energy Development Division
E-mail / Phone number	xxx@acorp.co.jp +zz-xxxx-yyyy

コメントの追加 [m19]: 排出削減・吸収に対する役割及び JCM の手続きを進めるうえでの役割も記入ください。以下も同じとなります。

Other Japanese participant(s) for the project and their roles in the project

Name of the entity	N/A
Business description	N/A
Roles of the entity in the project	N/A
Name and position of the contact person	N/A
E-mail / Phone number	N/A

コメントの追加 [m20]: 日本の共同事業者（技術提供者、資金スポンサー等）がいる場合に記載してください。なければ N/A と記載してください。

Participant(s) of partner country for the project and their roles in the project

Name of the entity	B 株式会社
Business description	建設業
Roles of the entity in the project	例： 1. プロジェクトの実施 2. 運用・保守管理 3. モニタリングの実施、報告
Name and position of the contact person	Mr. zzz, Vice President, Engineering Division
E-mail / Phone number	zzz@ccorp.co.jp +zz-xxxx-yyyy

Governments of partner country

Name of the relevant ministry or governmental agency	N/A
Name and position of the contact person	N/A
E-mail / Phone number	N/A

コメントの追加 [m21]: パートナー国の事業実施にかかる省庁担当部署を記入ください。また、JCM 実施についても相談している場合は、記入欄を追加して、JCM 実施にかかる省庁担当部署を追記してください。

Government of Japan

Name of the relevant ministry or governmental agency	Global Environmental Bureau, Ministry of the Environment
Name and position of the contact person	Section Chief（役職）ZZZ（名）XXX（姓）
E-mail / Phone number	xxxzzz@env.go.jp

	+zz-xxxx-yyyy
--	---------------

Implementation Structure

